

新年のご挨拶



一般社団法人日本エレベーター協会
会長 網谷 憲晴

新年、明けましておめでとうございます。

2025年の新春を迎えるにあたり、皆さまにご挨拶申し上げます。

旧年中は当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本経済は、好調な企業業績を背景として、設備投資が堅調に推移、雇用・所得環境の改善も進み、物価上昇の影響が続く中でも個人消費は回復基調となり、緩やかな成長が続いています。2025年も、堅調な個人消費や設備投資が経済成長を支える状況が継続すると見られる中で、特に、IoT技術の活用やデジタル化の進展が産業の効率化を促進し、経済全体の底上げに寄与するものと考えております。

昇降機業界においては、利用者から施工・メンテナンス作業員まで、昇降機に関わる全ての方々に対する安全確保が第一の命題です。しかしながら、2024年度は重篤災害2件を含む15件(12月末現在)もの労働災害が発生しており、業界全体で労働災害の撲滅に向けた取り組みを強化してまいります。

同時に、本年も法令改正への対応や、エレベーターの日の活動を通じた安全利用の啓発活動を積極的に推進するほか、昨年発生しましたエスカレーター利用者の重篤な転倒災害を踏まえ、実機での検証活動や安全利用に向けた一層の周知活動にも取り組んでまいります。また、協会ホームページの見やすさ及び使いやすさを改善し、協会活動のデジタル化と会員向けサービスの向上を図り、会員各社をはじめ、監督官庁、関係諸団体の皆さまと連携しながら、昇降機業界の継続的な発展に向けて取り組んでまいります。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年、皆さまとご家族が安全で健やかに過ごされますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。